

最短1日で  
認定資格が取れる!

# 水中ドローン スクール

静岡柿田川湧水校



安全潜航操縦士取得プラン

スクールガイド



**MUGEN**  
DRONE RESEARCH

# 水中ドローンスクール静岡柿田川湧水校

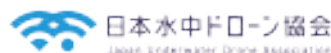
## 当校の特徴

当校は静岡県の東部に位置する駿東郡清水町にあり富士山の湧き水で有名な柿田川湧水・日本一の深い湾、駿河湾から見る富士山が絶景の位置にあります。

空・海・山とドローンに最適な環境にあります！



当社は日本水中ドローン協会認定  
「水中ドローンスクール静岡柿田川湧水校」です



ROV(遠隔操型無人潜水機)を始めとする水中ロボットは著しい性能の向上と小型軽量化が進み、趣味から産業活用まで幅広く対応可能な「水中ドローン」として世界市場を動かす存在となりました。海洋国家日本における水中ドローンの活用は大きな可能性に満ち溢れています。私たちは新たな海洋ビジネスの主演となる水中ドローンのエキスパートを育成し、空を超える水中事業の発展に挑戦し続ける団体です。

### 目的

- ・新たな水中・海中ビジネスの主演となる水中ドローンのエキスパートの育成
- ・水中事業の環境整備・発展・成長に挑戦
- ・水中ドローン利活用の情報配信・課題解決・提言・研究
- ・関係団体及び監督官庁等とのネットワーク構築

## スクール概要

「地表の70%は海、その95%は未知の領域」

### 水中ドローンの市場は2022年に5800億円市場へ成長！

2015年以降、空のドローン産業の発展のおかげで、水中・海中ドローンへのニーズが高まり始めています。ここ数年、多種多様な水中ドローンがリリースされ、2019年は「水中ドローン元年」と言われています。

人間が航海を始めて数百年が経っているにも関わらず、人類が海について把握しているのは5%程度、残り95%の海洋は、陸地以上に新たな可能性があると考えます。

海洋国家として日本は、今後さまざまなシーンで水中ドローンを活用していくことでしょう。



# 水中ドローン 安全潜航操縦士認定講習とは



水中ドローンを活用した水中事業の拡充に向けた人材育成のための講習会及びその資格取得のため独自の研修・受講プログラムです。

水中ドローンの機能を熟知し、安全に操縦でき一定のレベルに達していると認定する独自の民間資格。

## 水中ドローンの可能性

### 水中ドローンを使うのに免許は必要？



2022年現在では「免許」は必要ございません。

水中ドローンは、安定した潜航を保てる高性能な制御装置を搭載し、操作も簡単な機体なので、初心者の方でも安心して操縦することが可能ですが、安全に操作できる技術と知識が重要です。

また、特別な水中ドローンの使用にあたり、許可申請を取る必要もありませんが、港の作業や船舶の航行に関する法律がありますので、海では海上保安署、河川敷では河川を管理する事務所などに一報入れておく等の対応が求められます。

日本は、領海及び排他的経済水域の面積で世界6位、体積では世界4位に位置する海洋国家ですが、水中ドローンの需要が高まり広がりを見せる中で万が一の事故を未然に防ぐために、運用モラルの向上が課題となっています。

### 水中ドローンの免許は無いが、民間の認定資格がある。

日本国内で唯一の水中ドローンライセンスを発行する「一般社団法人 日本水中ドローン協会」では、「水中ドローン安全潜航操縦士」と呼ばれるライセンスの講習・認定を行っています。

空中ドローン業界ではこのような指導団体が複数ございますが、水中ドローン業界ではこちらの団体のみとなります。





## 水中ドローン協会とは

一般社団法人日本水中ドローン協会は、水中ドローン及び水中ロボットの運用上の環境整備・発展・成長の促進を目的とし、新たな水中事業の可能性を創造するため「人材育成」「点検・補修」「人材育成」「事業創造」を行います。協会認定校は全国で2022年2月時点で29校となり、首都圏でみますと6校となります。以下、協会が掲げる目的に沿って、水中ドローンの利活用の推進の活動を行っています。

## 安全潜行操縦士を取得すべき理由

2015年以降、空のドローン産業の発展のおかげで、水中・海中ドローンへのニーズが高まり始めています。

ここ数年、多種多様な水中ドローンがリリースされ、2019年は「水中ドローン元年」と言われています。水中ドローンの市場は2022年に5800億円市場へ成長と言われており、様々な業種での利活用が広がっていくとともに、水中ドローン操縦士の需要が高まっています。

適切な知識と技術を持った操縦士の数が圧倒的に足りていない現在、公的な資格制度が無く、操縦士の技術レベルを証明する団体も日本には「日本水中ドローン協会」のみとなりますので、お仕事での活用を検討されている方は、当協会が発行する「水中ドローン安全潜航操縦士」のライセンスを取得することで技能証明に繋がります。

また、これまで水中作業における主役であった、国家資格が必要な潜水士も現在は3,300人程度で、約6割が40～50代の方が多く、彼らの担う潜水作業を水中ドローンによって代行されていくことも期待されています。

海洋国家日本での水中ドローンの活用範囲は無量大です。

## あなたも、海中におけるパイオニアになってみませんか？

### 安全潜行操縦士の資格内容

「水中ドローン安全潜航操縦士」は、一般社団法人日本水中ドローン協会が、水中ドローンを活用した水中事業の拡充に向け、優れた技能と知識を持った水中ドローン人材の育成を目指して策定したライセンスです。

講習会およびその資格取得のための独自の研修・受講プログラムによって水中ドローンの機能を熟知し、安全に操縦できる一定のレベルに達していると同協会が認定する人材に付与される、独自の民間資格です。

講義内容は以下項目について学びます。

- ・安全に関する基礎知識
- ・法令順守
- ・期待とその性能の熟知
- ・アプリケーションの熟知
- ・基本操作
- ・水中事業の把握
- ・さまざまな環境への適応
- ・安全管理
- ・リスク管理
- ・撮影テクニック



座学が2時間半、実技が2時間半の講習となり、実技・筆記試験もございますが1日での取得が可能です。受講後、講習の修了証とライセンスカードが付与されます。



# 教習のプロフェッショナルから学ぶ 水中ドローン操作に必要な知識と技能

ドローンが必須になる  
時代が目の前に！

## 水中ドローン安全潜航操縦士認定講習概要【安全潜航操縦士取得プラン】

講習時間：座学 2時間30分、実技 2時間30分 【基本プラン】受講料：66,000円【製本テキストプラン】74,800円



スクール外観



座学教室

※1 プール等で実技を行います。

※2 (一社)日本水中ドローン協会へ直接申請。発行手数料は別途11,000円(税込)

※ 上記内容は一部変更になる可能性があります。詳しくは都度お問い合わせください。

※+0.5日間の実践講習もございます。

・座学講習・試験料、テキスト、施設利用料は受講料に含まれます。会場までの交通費、宿泊費、お食事代などはお客様のご負担をお願いいたします。  
・専用駐車場はご用意がございません。(お車でお越しの方は事前にご相談下さい。近隣の駐車場をご案内いたします)公共交通機関をご利用ください。  
・電車でお越しの方は、三島駅より送迎致します。到着時間を事前にお電話を下さい。  
・受講者は、座学受講中のビデオ撮影・録音をすることはできません。  
他注意事項詳細は、当社ホームページをご覧ください。

取得資格	水中ドローン安全潜航操縦士
目的	1. 水中ドローンの機体（性能）を熟知する 2. 安全基準を満たした操縦を行う
期間	1日間（9:00～16:30）
受講内容	・安全に関する基礎知識 ・機体とその性能の熟知 ・アプリケーションの熟知 ・基本操作 ・さまざまな環境への適応 ・法令順守 ・水中事業の把握 ・安全管理 ・リスク管理 ・撮影テクニック ・操縦方法について<実技>※1 ・事前準備・片付け ・操縦（水面・潜航） 試験筆記試験・実技試験
定員	3名 ※複数名様でのお申込みの場合、日程等ご相談承ります。
場所	静岡県 ※1
受講料	【基本プラン】68,200円※テキストPDFメール送付・試験費用込み 【製本テキストプラン】77,000円※試験費用込み
使用機材	CHASING M2
認定証	発行あり ※2

### お申込の流れ



1

ご希望の日時を下記QRコードメールフォームまたはお電話でお問合せ下さい。メールフォームでお問合せの方へ自動返信メールが届きます。



2

担当者からお問合せ内容のご回答をご連絡いたします。内容に納得頂けましたら、スクール詳細をご確認の上、お申込・受講料をお振込み下さい。



3

スクールの受講日です。当日開始時間10分前までに現地にお越しください。



4

受講完了し合格の方には協会認定証の発行をご案内いたします。(協会へ直接別途要費用)

メールフォームお問合せ  
school@drone-mugen.com



055-955-8117

電話受付時間：平日10:00-17:00

### スクール風景



### スタッフ



石田 太輔

- ・JUIDA認定無人航空機操縦士
- ・JUIDA認定無人航空機安全運航管理士
- ・日本水中ドローン協会認定  
水中ドローン安全潜航操縦士
- ・日本水中ドローン協会認定 インストラクター
- ・1級小型船舶操縦士
- ・特殊小型船舶操縦免許
- ・第3級陸上特殊無線技士
- ・第4級アマチュア無線技士
- ・潜水士
- ・航空法国土交通省全国包括申請済
- ・国土交通省 物件投下許可申請取得
- ・国土交通省 危険物輸送許可申請取得



#### JOB DESCRIPTION 〈業務内容〉

各種点検 / 調査 / 撮影 / 捜索 / 災害救助 等  
ドローンを用いた空及び水中での各種業務

#### DRONE SCHOOL 〈ドローン学校〉

 日本水中ドローン協会認定

水中ドローンスクール 静岡柿田川湧水校

水中ドローン安全潜航操縦士取得プラン

